

当社の環境への取組み

事業を通じた環境負荷低減活動

事業貢献

※1 貢献量については一部想定を含みます
 ※2 林野庁HPより 杉の木1本あたりのCO₂吸収量14kgで換算

気候変動、資源枯渇、生物多様性の損失をはじめとしたさまざまな環境問題の解決に向けて、環境貢献を三菱電機グループとして取り組むべき最重要課題の一つと位置づけています。当社においても、環境貢献を最重要課題と位置付けており、法令遵守による地球環境の汚染防止に加え、製品・サービスの提供によるお客様の温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいます。24年度のCO₂削減貢献量は各事業を合計すると14,628t-CO₂でした。これは、檜の木約122万本分の年間CO₂吸収量と同等です。

環境・省エネルギー支援事業

環境エネルギーソリューション事業の提案
 (省・創(再)・蓄エネの設備と制御システム)
 ・電気使用時のCO₂削減
24年度削減貢献：2,742kg-CO₂



家庭用電化製品・住宅設備機器関連事業

家庭用電化製品の修理・保守
 省エネ製品の切替 (空調機器、給湯機)
 ・廃棄物削減
 ・製品使用時のCO₂削減
24年度削減貢献：6,778t-CO₂



FA・産業機器関連事業

再エネ管理システム(SMART-LiCO)
 導入による発電エネルギーの
 運用効率化にてCO₂削減に貢献
24年度削減貢献：159kg-CO₂



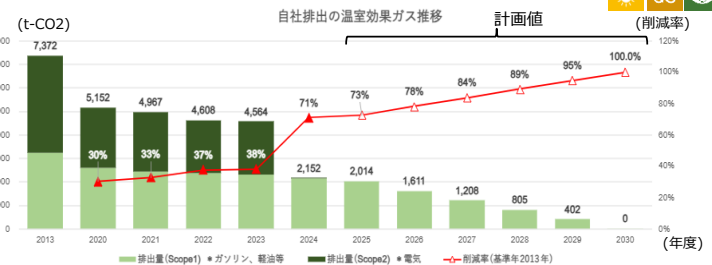
情報通信関連事業

ビデオ会議システムの導入・設置
 ・移動そのもの削減によるCO₂削減
24年度削減貢献：4,949t-CO₂



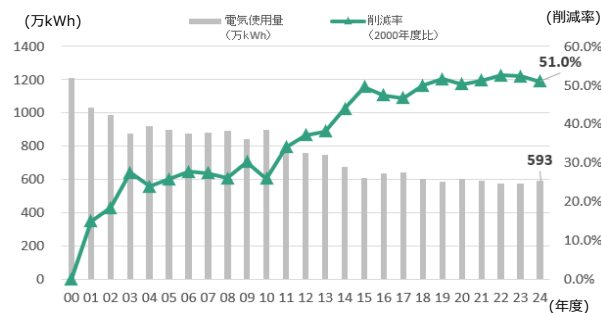
カーボンニュートラル

2030年度までに工場・オフィス等の自社から排出される温室効果ガス排出量実質ゼロの目標に向け、電気使用量削減・燃費向上(燃料使用量削減)・再エネ電力調達と合わせ、24年度からは非化石証書の調達によるCO₂相殺の取組を開始し、24年度は目標(13年度比▲66%削減)に対し、13年度比▲71%の削減を達成しました。



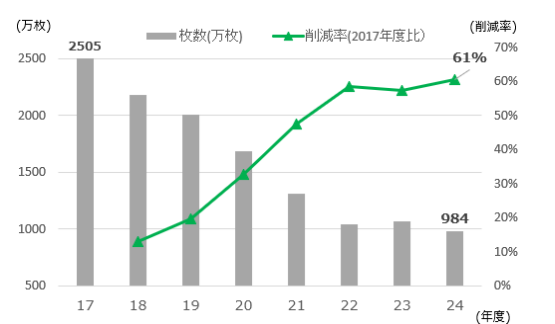
電気使用量削減

太陽光発電システムの導入、旧型空調機の更新、照明のLED化、デマンド監視装置の導入等により、エネルギー消費効率向上に取り組んでいます。



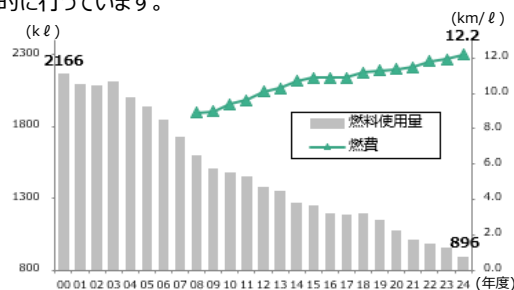
ペーパーレス化の推進

資料のモニター投影やタブレット・ノートパソコンの活用による会議資料の電子化や帳票類の電子化、申請・承認業務をシステム化し、紙使用量を削減しています。



燃費向上

サービスカーの台数最適化やエコドライブを徹底し、燃料使用量の削減と燃費の向上を図っています。また、ハイブリッド車の導入など、燃費の良い車両への切替を積極的に行っています。



廃プラスチックリサイクル率向上

環境省が策定した「プラスチック資源循環戦略」では2035年までにすべての使用済みプラスチックをリユースまたはリサイクル、それが技術的・経済的観点から難しい場合には熱回収も含め100%の有効利用を目指しています。当社もその趣旨に従い、廃プラスチックのリサイクル率向上に努めております。

